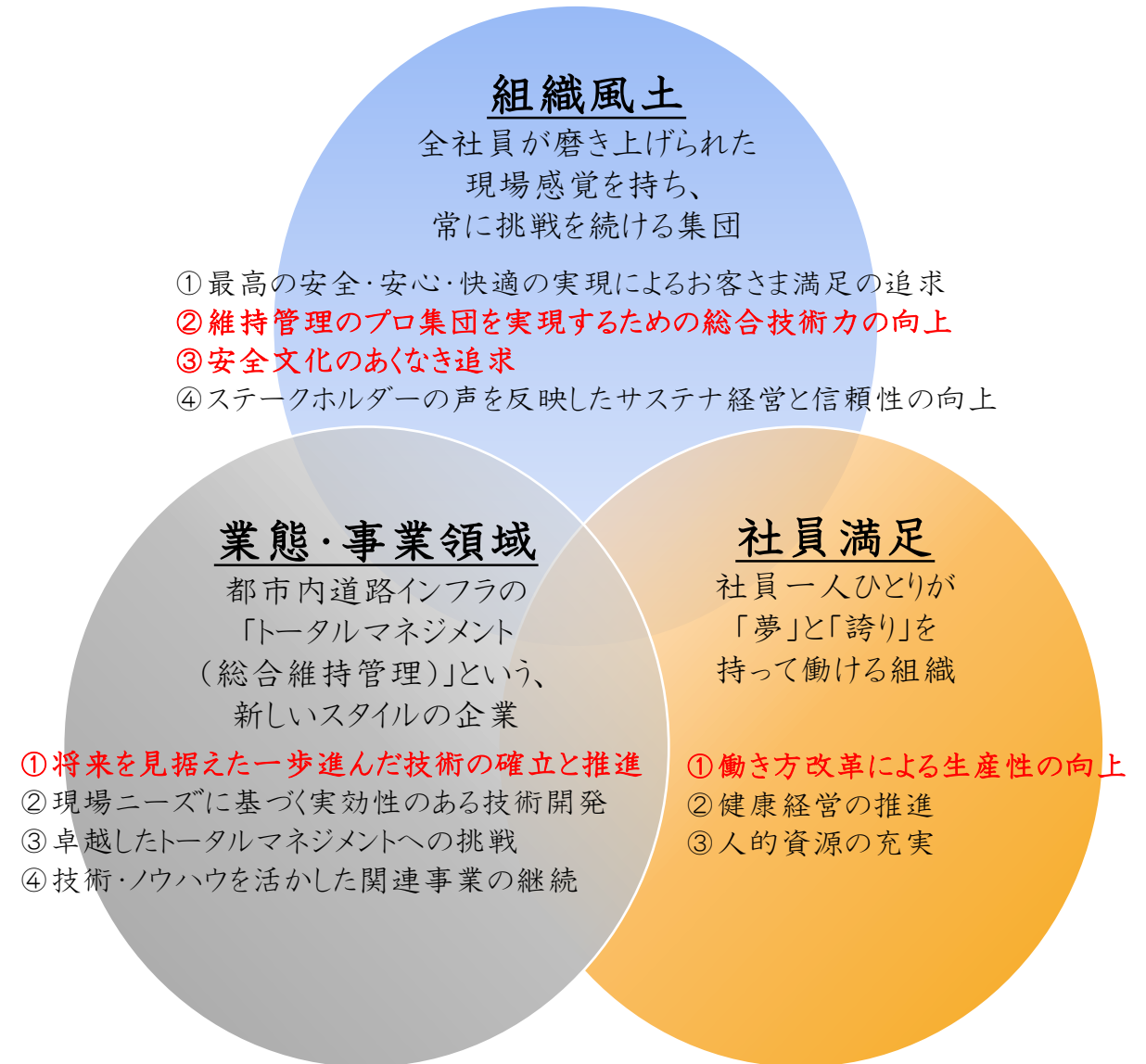
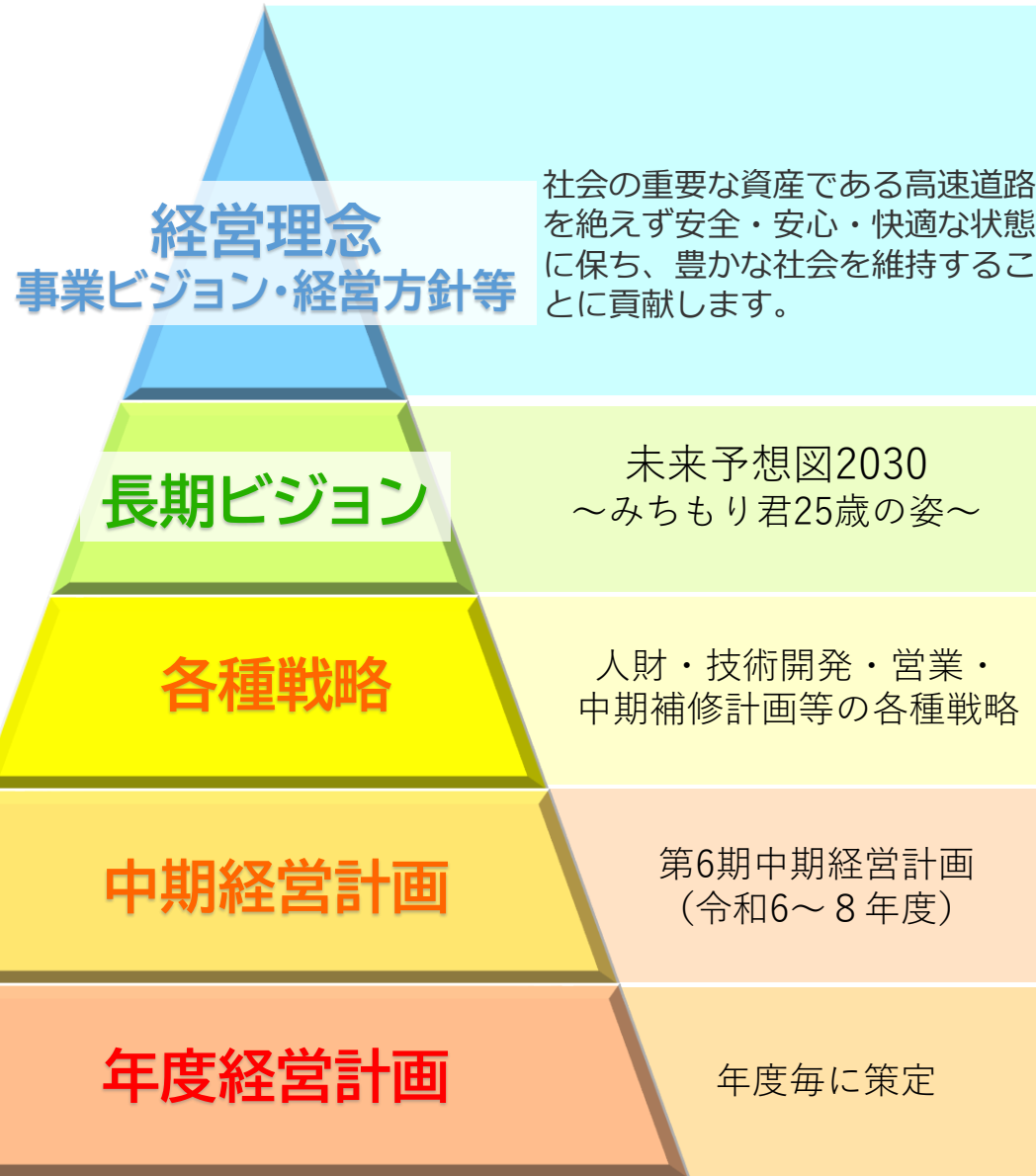


# 阪神高速技術株式会社の経営概念図



長期ビジョンと中期経営計画における取り組み事項（赤字は重点項目）

# 第6期中期経営計画(2024～2026)の重点項目



## 【組織風土ビジョン】

### ◎維持管理のプロ集団を実現するための総合技術力の向上

- ・ 責任感と現場感覚をもち常に主導的な役割を担うことができる現場マネジメント人材を育成し、維持管理のプロ集団を目指します。

### ◎安全文化のあくなき追求

- ・ 社員全員が安全管理のレベルアップを意識し、過去事例やヒヤリハット事例を活用した事故防止活動に取り組むとともに、最新技術の導入・開発を推進することで『事故“ゼロ”』を達成します。

## 【業態・事業領域ビジョン】

### ◎将来を見据えた一步進んだ技術の確立と推進

- ・ 構造物等の老朽化に伴い、年々増加する損傷や不具合に対応する『事後保全』から、品質の高い管理水準を維持するために、『予知保全』の考えを取り入れることで、損傷分析・企画判定・データ解析手法を確立させるなど、将来の損傷発生を抑制させるための”考える維持管理”にシフトします。

## 【社員満足ビジョン】

### ◎働き方改革による生産性の向上

- ・ 既存の仕組み・システムの徹底した見直しによりDXを推進し、煩雑な事務作業を簡略化することで業務全体の生産性を向上させ、書類作成等の時間から現場・品質・技術に携わる時間へとシフトすることで技術力向上に向けた挑戦が出来る環境を整備します。

**【組織風土ビジョン】 『維持管理のプロ集団を実現するための総合技術力の向上』**

- 現場マネジメント人材の育成プログラムや現場でのOJTの取り組み改善
- DX人材の継続的な育成、業務のDX促進を踏まえた今後の事業展開の検討やロードマップ等の整理
- 各専門分野における人材育成計画の実行及び体制の確立

**【組織風土ビジョン】 『安全文化のあくなき追求』**

- 全事業所員（特に若手社員）の安全意識向上のため、事業所朝礼（夕礼）参加、各種勉強会の実施
- 過去の事故事例を風化させない仕組みの構築に向け、VR教育コンテンツの作成
- 「危険車両予知システム(カメラ方式)」の効果検証、「輪留型制動装置」の最適形状・設置方法の確立

**【業態・事業領域ビジョン】 『将来を見据えた一歩進んだ技術の確立と推進』**

- 事業所の再編・分担見直しや、予知保全の視点を組み込んだ戦略的補修計画の提案
- 設備障害の遡減や障害の早期復旧に向けた設備監視業務における生成AI活用の基盤構築
- 設備点検の省人化に資する遠隔化可能な点検の拡大と課題整理

**【社員満足ビジョン】 『働き方改革による生産性の向上』**

- リエンジニアリングの取り組み方針に基づき、労力削減に資するシステム開発・連携等を推進
- 生成AIの積極的な活用による定型業務の自動化・効率化